

→お孫さんらに囲まれたヨ子さん、約50人がお祝いの歌を合唱。入所する特別養護老人ホーム「慶寿園」(立花敏朗施設長)で。



## 長寿日本一 皆川ヨ子さん114歳のバースデー

長寿日本一の皆川ヨ子さん(上野)が1月4日に114歳の誕生日を迎え、入所する特別養護老人ホーム「慶寿園」で誕生会が開かれました。浦田弘二町長から両手いっぱいの花束を受け取り、ヨ子さんは満面の笑み。職員が描いた似顔絵入りの特注ケーキで長寿が祝福されました。昨年12月に発熱しましたがすぐに回復し、健康な状態でこの日を迎えた皆川ヨ子さん。周囲から「ヨ子さんおめでとう」と声をかけられると「ありがとう、そげんなったかね」とごきげんな様子でした。自らケーキの口ウソクを吹き消すと、会場から大きな拍手と歓声が上がりました。

→浦田弘二町長からの花束贈呈。



### 町長日誌

▼福智町になって、はじめての成人式が、1月8日に行われた。今年度は旧3町ごとの

開催であったが、どの会場も若さにあふれ、華やかな雰囲気か漂っていた。残念ながら同日開催ということで、最初から最後までとはいかず、祝辞もそこそこに駆け足での会場回りとなった。それでも社会的に響(ひび)きを買(か)っている成人式の状況とは違って、整然とした中にも和やかさがあり、まさに大人への門出を祝うにふさわしい式典だったと思う▼成人者の中には既に社会に出て働いている人もいれば、学生として勉学に励んでいる人もいる。進む道は異なっているけれども、それぞれに人生への思いや将来にかける夢は、誰にも負けないものがあると思う。しかし、手をこまねいていては、夢を実現することは難しい。計画性のある地道な努力を積み重ねてこそ、可能性が見えてくる。成人という一里塚は誰もが経験するものではあるが、その認識の度合いによって、一人ひとりの人生行路に差し込む光の量に違いが出てくるのではないだろうか▼かつて、江戸時代末期の山口藩士だった村田清風は「来て見れば、さほどでもなし富士の山、釈迦も孔子もかくやありなん」と詠んでいるが、まさに個々人の意志と忍耐力が、自らの人生に花を咲かせるのかいなかを左右することになると思う。今回成人を迎えられた若人すべてに、輝かしい未来のあることを願っている。

浦田 弘二